4

大津城を歩く

日　時：令和４年１０月２２日（土）　１０：００～１２：３０
場　所：中央公民館、中央学区、長等学区
受講生：２３名
講　師：大津市埋蔵文化財調査センター　主任　田中　久雄 氏
協　力：滋賀大学教育学部　教授　神部　純一 氏
　　龍谷大学政策学部　教授　只友　景士 氏
　　中央学区団体連絡協議会　会長　青木　正博 氏
　　龍谷大学政策学部只友ゼミ生　６名

【講座内容】
〇オリエンテーション
〇講話及びまち歩き（見学）
〇意見交換会

【概　　要】
　大津城は、坂本城が廃城とされたのち、城と城下町を移して建設されたものである。関ヶ原の戦いの前哨戦ともいうべき「大津籠城戦」で焼亡し、以後再建されることなく膳所築城と共にわずか２０年足らずで廃城となっている。そのためか規模などを含めて不明なことが多い。田中氏の講話においては、昭和後半から平成にかけての発掘調査で検出された、本丸内礎石建物跡等（現明日都）の写真資料をもとに、築城の経緯や、廃城後本丸以外が再開発され「大津百町」を形成したことなどを詳しくお話しいただいた。
　まち歩きの中で受講生は、大津城跡として形は残っていないが、一般の住宅地やマンションの駐車場に石垣の跡があることや、川口公園が中堀であったことなどを知り、まるでミステリーツアーのようだと感じていた。また、「今歩いているこの坂が、本丸に至る道だと知っていれば興味がわく、その知識を提供していくことが大切。」として、大津の魅力をもっと活かしていくべきだという考えが多くあった。

【当日の様子】

講話の様子

意見交換会

幻の大津城

まち歩き